

垂直離着陸可能に

無人飛行機を完成

ジーエイチクラフト 軽量化で制御容易に

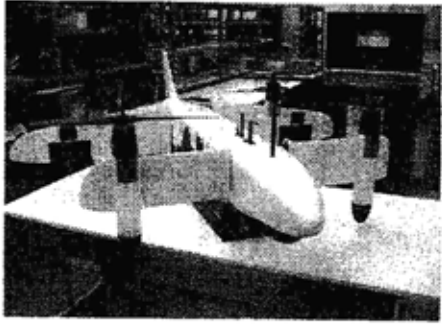
【静岡】ジーエイチクラフト（静岡県御殿場市、木村学社長、0550・89・8680）は、自律飛行が可能な垂直離着陸型の無人飛行機「QTW-UAS FS4」を完成した。最高時速は150キロで無線操縦のヘリコプターよりも早い。ホバリングが可能で、空中での災害場所の定点観測などに使える。2年後の発売を目指す。

垂直離着陸型飛行機は、炭素繊維強化プラスチック（CFRP）を多用して機体を軽量化すること

で制御を容易にした。自律制御の飛行システムは千葉大学と共同開発した。

飛行機の全長は1・8メートル。垂直から水平に90度可動する翼

▲垂直離着陸型の無人飛行機「QTW-UAS FS4」



（デルトウイング）をし、空中で翼の角度を水前後に2枚持つ。翼に付平にしてプロペラ機同様の4発のプロペラで推進力を得る。ヘリコプターのように垂直に離陸

し、空中で翼の角度を水平にしてプロペラ機同様に飛行する。最大飛行時間は1時間。最大積載重量は500グラム。

々。空中から地上の様子を撮影する高精度カメラなどを搭載できる。自衛隊の偵察機のほか、測量や建物の監視などの用途を見込む。

同社は帝人の子会社で、CFRPを生かした次世代航空機、自動車の部品の試作開発が主力。09年3月期の売上高は6億5000万円。